

2022年第49回中央社保学校現地実行委員会立上げのための検討会報告

- 日時：2021年12月9日(木)14時～15時30分 ー県社保協2021年度第7回幹事会にてー
- 会場：自治体福祉センター 第2会議室・オンライン併用
- 出席：・矢澤(千葉労連)・竹内(自治労連)・馬上(保険医協会)・加藤(民医連)・栞原(土建)
・喜治(保問協)・木幡(千商連)・神田(新婦人)・天海(障千連)・生駒(流山)・根本(白井)
・藤田(事務局) ○zoom→・永島(医労連)・浦(千葉)・武田(銚子)・新山(柏) 以上16名

1. この間の経過 ー首都圏社保協打ち合わせ報告参照ー

2. 第49回中央社保学校開催へむけて

- 日程：2022年9月17日(土)午後開会～18日(日)午後閉会
- 会場：千葉市内会場+オンライン併用

<メイン会場>

- ・ 千葉市文化センター セミナー室 (定員140人→70人) 17日(土)9時～18日(日)17時
※千葉市中央区中央2-5-1 JR千葉駅東口より徒歩5分
※会場使用料→¥96,580+備品使用料

～他に下記の会場で集団で視聴し、個人視聴も含め、県内200人の参加をめざす～

- ・ 自治体福祉センター (4階 30～40人程度)
※自治労連県本部大会と重ならなければ使用可能
- ・ 千葉土建会館 (7階 50人程度)
- ・ 千葉県保険医協会 会議室 (20～30人程度)

●現地での体制

- ・ 現地実行委員会、現地事務局(関東甲ブロックの内首都圏社保協が兼任)を結成する
 - ・ 中央社保学校長…中央社保協代表委員
 - 中央社保協担当役員… 山口・是枝・林
 - 現地実行委員長…千葉県社保協 鈴木徳男会長
 - 現地実行委員会・現地事務局 (千葉・東京・神奈川・埼玉)

●当面の企画立案の進め方

- ・ 2022 年第 49 回中央社保学校第 1 回現地事務局会議を開催→2022 年 1 月以降
- ・ 議題:第 49 回中央社保学校開催の目的やねらい、概要案を協議
- ・ 現地事務局会議からの提案を中央代表委員会にて協議・確認の上、代表者会議にて第 1 次案として報告し、各県社保協・中央団体での参加組織を提起していく。
- ・ 現地事務局会議開催に伴う経費は、社保学校全体の予算に組み込む。

●企画案について

- ・ 1 日目 講演を宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授)に依頼 -別添-
テーマ案/経済情勢と国民生活への影響～ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして
※医療・介護・福祉・労働の現場からの実態報告などシンポジウム形式でどうか・・・

- ・ 2 日目 ・講座 ・分科会

※首都圏の社保協が分担してホストを務めれば分科会を行うことは可能ではないか。

※テーマとして下記のような案が出された。

- ・ 社会保障入門 講座
- ・ 国民健康保険入門 講座
- ・ 介護保険制度を考える
- ・ 天海訴訟～障がい者福祉
- ・ 災害対策～東海原発など テーマが広すぎて難しいのでは・・・
- ・ 地域社保協づくり
- ・ 千葉からの発信～安房文化遺産フォーラム「館山まるごと博物館」の挑戦 -別添-

●今後のスケジュール、その他

-別添 参考資料-

以上

① 第49回中央社保学校第1回現地実行委員会報告

2022年 1月7日 10時～12時

参加／・東京(窪田)・埼玉(川嶋)・神奈川(根本) ・中央(山口)(是枝)(林)
・千葉(藤田)(竹内)(岩崎)(矢澤)(日暮)(栞原)(馬上)(加藤) 以上 14名

(1) 経過

第48回中央社保学校について、10月6日の第3回運営委員会で総括し、10月29日に、関東甲ブロック首都圏事務局長会議を開催。開催県について検討し、千葉県での開催及び2022年9月17日(土)～18日(日)の日程で、実施することを申し合わせました。

11月10日の第4回運営委員会で開催県、日程を確認し、12月1日に首都圏事務局長会議で運営、内容等について打ち合わせを行い、12月8日の関東甲ブロックで協議し、本日(1月7日)の現地実行委員会開催となりました。

(2) 第49回中央社保学校開催目的の確認

- ① 社会保障運動の歴史とたたかいについて学ぶ。
- ② 現在の社会保障をめぐる情勢の最新の状況とたたかい方について学ぶ。
- ③ 情勢を学びつつ、社会保障入門講座を設置し、新入職員・同組合員の学習と活動家の実戦・経験を深める場とする。
- ④ 開催地県の運動実践に学ぶ
- ⑤ 社会保障運動にかかわる人の交流と学びの場とする。

～参照 第48回中央社保学校～

コロナ禍で日本の社会保障とともに政治や社会の脆弱性が明確になってきた。そして、菅内閣が誕生し自助を基本とする政治や社会保障を強く打ち出すとともに、コロナ禍においても「自助」「自衛」が国民に求められる状況が続いている。しかし、政府の対策は、PCR検査は限定的な実施にとどまり、医療機関や介護施設、そして営業を守るための施策も不十分な中、国民の命と暮らしを守る政治とはなっていない。

そうした中で開催する中央社保学校は、現在の日本の政治や社会の現状を広く深く分析し今後のあり方を考え、そのもとで社会保障の現状と改革の方向性を探っていくことが重要な意義となる。

また、地域社保協つくりを推進する方針を打ち出し、今後の社会保障運動を担う人たちの養成を行っていくための社会保障入門テキストが発行(「社会保障」誌2021年9月発行「秋号」)されるのを受けて、その普及を進める出発点としての意義もある。

(3) 第49回中央社保学校開催へむけて

- ① 第1回打ち合わせ(10月29日)報告(別途資料参照)
- ② 日時及び会場について

- 日時：2022年9月17日(土)午後開会～18日(日)午後閉会
- 会場：千葉市内会場+オンライン併用

<メイン会場>

- ・ 千葉市文化センター セミナー室 (定員 140 人→70 人) 17 日(土) 9 時～18 日(日) 17 時
※千葉市中央区中央 2-5-1 JR 千葉駅東口より徒歩 5 分
※会場使用料→¥96,580+備品使用料

～他に下記の会場にて集団視聴し、個人視聴も含め、県内 200 人の参加をめざす～

- ・ 自治体福祉センター (4 階 30～40 人程度)
- ・ 千葉土建会館 (7 階 50 人程度)
- ・ 千葉県保険医協会 会議室 (20～30 人程度)

③ 体制

- ・ 現地実行委員会、現地事務局(関東甲ブロックの内首都圏社保協が兼任)を結成する

中央社保学校長…中央社保協代表委員
中央社保協担当役員… 山口・是枝・林
現地実行委員長…千葉県社保協 鈴木徳男会長
現地実行委員会・現地事務局 (千葉・東京・神奈川・埼玉)

④ 当面の企画立案の進め方

- ・ 現地事務局会議からの提案を中央代表委員会にて協議・確認の上、代表者会議にて第 1 次案として報告し、各県社保協・中央団体での参加組織を提起していく。
- ・ 現地事務局会議開催に伴う経費は、社保学校全体の予算に組み込む。

●企画案について

※同時間帯にテーマ別の分科・講座を行うことは集団視聴の場合は困難のため愛知方式で実施

- ◎ 1 日目 講演を宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授)に依頼 (90 分+質疑)
テーマ案/経済情勢と国民生活への影響～ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして
※合わせて医療・介護・福祉・労働の現場からの報告があるとよいのでは・・・
- ◎ 1 日目又は 2 日目で・・・
社会保障誌テキストと社会保障運動入門(学習の友社)を活用して社会保障入門講座を企画してはどうか・・・講師には井口先生どうでしょう？
- ◎ 2 日目 シンポジウム

- ※ 4 8 回社保学校の長友薫輝氏のコーディネートによる「コロナ禍の社会保障・課題は？」医療・保健所・保育・支援活動の現場からの検証～大変すばらしかったとの感想が出された。

コロナ禍で浮き彫りとなった社会保障の脆弱さ～医療、保健所、子育て、くらし、自治体の現場の実態と問題点、女性や子どもの貧困などを明らかにして、政策の転換を求める今後の社保協運動、地域社保協づくりをテーマに企画してはどうか・・・第 4 6 回滋賀県での開催のシンポジウムのような・・・

- ※千葉からの発信～安房文化遺産フォーラム「館山まるごと博物館」の挑戦 一別添一
午後の部開始前(昼休み休憩中) 15～20 分程度でどうか・・・

⑤ 今後のスケジュール、その他

〈スケジュール案〉

- 1月 第49回中央社保学校開催の目的やねらい、概要・企画案について協議
関東甲ブロック会議（1月18日）で協議
- 2月 スケジュール、会場、体制、運営等の確認と検討など
※現地事務局会議
2月9日の代表者会議で第1次案として報告

◎3月以降の進め方

1. チラシ作成へ
2. 参加申込開始、
3. 中央団体はじめ、千葉県労連等現地団体、労働組合等への協力要請・打ち合わせ
4. 関東甲ブロックでの意思統一（要員、動員等の確認）
各ブロック会議（3月）での参加要請
3/14 北信越 3/15 北海道・東北、3/16 東海、3/17 九州、3/18 中国
5. 中央社保協総会での意思統一
6. 講師等との打ち合わせ
7. 申込受付締切
振り込み締切
資料(紙媒体)・社保誌申込者への発送
Zoom情報の発信
キャンセル締切（これ以降は返金しない）

～報告文書から再掲（開催準備に関連しての検討事項）～

- ・ Web環境整備など中央団体の力量の発揮を協議・要請していく。
- ・ 各県社保協のその後の運動に寄与することも考えて、参加受付について各県社保協が県内参加者を一旦受付集約し中央へ登録する方式ができないか検討する。
団体受付、個人受付方法をオンラインの技術を活用した新しい方式を検討していく。
- ・ そうした検討も踏まえて、受付方法の効率化をはかり、開催当日の受付なども迅速化の検討を行う。
- ・ 入金・確認業務の効率化負担軽減の方式を検討する。

⑥ 次回日程→1月17日(月)10時～

②

第49回中央社保学校第2回現地実行委員会報告

2022年 2月 2日 18時～20時

参加／・中央（山口・是枝）・神奈川（根本）・埼玉（川嶋）・千葉（加藤・馬上・日暮・藤田）
以上 8名

(1) 経過

- 10月 6日 第48回中央社保学校について第3回運営委員会で総括
- 10月29日 関東甲ブロック東京・神奈川・埼玉・千葉事務局長会議
千葉県での開催及び2022年9月17日（土）-18日（日）の日程で実施することを申し合わせ。
- 11月10日 第4回運営委員会で開催県、日程を確認。
- 12月 1日 関東甲ブロック東京・神奈川・埼玉・千葉事務局長会議
運営、内容等について打ち合わせ
- 12月 8日 関東甲ブロックで協議
- 1月 7日 第1回現地実行委員会開催。
- 1月12日 第6回運営委員会
- 1月18日 関東甲ブロック会議
- 2月 2日 第7回運営委員会、第2回現地実行委員会

(2) 第49回中央社保学校開催目的の確認

■中央社保学校開催目的

- ①社会保障運動の歴史とたたかいについて学ぶ。
- ②現在の社会保障をめぐる情勢の最新の状況とたたかい方について学ぶ。
- ③情勢を学びつつ、社会保障入門講座を設置し、新入職員・同組合員の学習と活動家の実戦・経験を深める場とする。
- ④開催地県の運動実践に学ぶ
- ⑤社会保障運動にかかわる人の交流と学びの場とする。

■第49回中央社保学校開催にあたって

コロナ禍で日本の社会保障とともに政治や社会の脆弱性が明確になりました。

安部・菅政治直結の岸田内閣の下で、「新しい資本主義」なるまやかしのスローガンの下、自助を基本とする政治、社会保障政策を引き続き加速させる政治が強く打ち出されています。

コロナ禍において、「自助」「自衛」が国民に求められ、政府の対策は、医療機関や介護施設、そして営業を守るための施策も不十分な中、国民の命と暮らしを守る政治とはなっていません。

中央社保学校の開催は、現在の日本の政治や社会の現状を広く深く分析し今後のあり方を考え、そのもとで社会保障の現状と改革の方向性を探っていくために、重要な意義があるものです。

また、地域社保協つくりを推進し、今後の社会保障運動を担う人たちの養成を行っていくための社会保障入門テキストが発行、活用されるのを受けて、学習運動を各地で推進させていくための決起の場としても位置付けられます。

(3) 第49回中央社保学校開催へむけて

- 日時：2022年9月17日(土)午後開会～18日(日)午後閉会
- 会場：千葉市内会場+オンライン併用 現地オンライン担当：日暮一浩
中央社保協責任者()

<メイン会場> 千葉市文化センター セミナー室 (定員140人→感染対策で70人が上限)
—千葉市中央区中央2-5-1 JR千葉駅東口より徒歩5分—

※使用可能→17日(土)9時～18日(日)17時

※会場使用料→¥96,580+備品使用料

1日目/9月17日(土)

- 12時30分 受付開始
13時 開会 司会()
中央社保学校長 挨拶 ()
現地実行委員長 挨拶 (鈴木徳男)
—スケジュール説明・事務連絡—
- 13時15分
～14時45分 (90分) 講演：ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして (案)
～経済の潮流と国民の暮らし～
講師：宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授) —別添—
- ～15時15分
～質疑応答～
—休憩—
- 15時30分 コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾 ～医療・介護現場からの告発～
(30分×2人)
報告 ①医療→(千葉民医連:宮原医師)
②介護→(埼玉医労連:アンケートで明らかになった現場の実態)
- 16時30分 ～事務連絡・終了～

2日目/9月18日(日)

- 9時30分 受付開始
10時 司会() —スケジュール説明・事務連絡他—
社会保障運動 入門講座 講師案→井口克郎神戸大学准教授 (中央社保協)

※ 社会保障はだれもが人間らしく生きるための共同の営みであり、憲法が保障する権利です。ところがいま、「自助・互助・共助」が強調され、制度改悪が続いています。戦後の日本の社会保障「改革」の経緯にふれつつ、「憲法をいかす運動とは？」あらためて学び、考えます。若い世代もベテランも共に・・・

- 11時30分 ～質疑応答～

12時

～昼休み休憩～

※憲法9条と25条は一体です。千葉からの発信～安房文化遺産フォーラムの取組みを紹介。DVD(15～20分程度)にまとめ昼休みに繰り返し放映できるよう依頼。(千葉県社保協)

12時45分

～シンポジウム～

～子ども、若者、女性、高齢者・・・あらゆる世代の貧困、自治体の現場の実態と問題点、矛盾を明らかにし、国と自治体へいのちとくらし守る政策への転換を求めるこれからの社保協運動、地域社保協づくりを展望して～

コーディネーター ※長友薫輝三重短期大学教授に依頼。(中央社保協)

パネラー ・公衆衛生・保健所→(東京でどうか?自治労連と相談)

・国保や生活保護行政の改善→横浜市従と相談(神奈川県社保協)

・65歳の壁～障害者を年齢で差別するな (天海訴訟を支援する会)

・地域での相談活動～食糧支援・無料塾等の取組みから (全労連と相談)

・自治体要請キャラバンや地域社保協の取組みから

～参加者からの質問と発言～ ※途中で休憩時間とする

15時15分

まとめ ～・感想文記入・事務連絡～

15時30分

閉会

●今後のスケジュール

◎ 2月9日の代表者会議で第1次案として報告

◎ 3月以降の進め方

1. チラシ作成へ
2. 参加申込開始、
3. 中央団体はじめ、千葉県労連等現地団体、労働組合等への協力要請・打ち合わせ
4. 関東甲ブロックでの意思統一(要員、動員等の確認)
各ブロック会議(3月)での参加要請
3/14 北信越 3/15 北海道・東北、3/16 東海、3/17 九州、3/18 中国
5. 中央社保協総会での意思統一 8月3日
6. 講師等との打ち合わせ
7. 申込受付締切
振り込み締切

資料(紙媒体)・社保誌申込者への発送

Zoom 情報の発信

キャンセル締切 (これ以降は返金しない)

～報告文書から再掲(開催準備に関連しての検討事項)～

- ・ Web 環境整備など中央団体の力量の発揮を協議・要請していく。
- ・ 各県社保協のその後の運動に寄与することも考えて、参加受付について各県社保協が県内参加者を一旦受付集約し中央へ登録する方式ができないか検討する。
団体受付、個人受付方法をオンラインの技術を活用した新しい方式を検討していく。
- ・ そうした検討も踏まえて、受付方法の効率化をはかり、開催当日の受付なども迅速化の検討を行う。
- ・ 入金・確認業務の効率化負担軽減の方式を検討する。

※次回日程 → 今後調整する。

以上

③

※3回

第49回中央社保学校現地実行員会報告

(22.04.06 17:00~18:15)

参加 (千葉) 藤田 (東京) 窪田 (神奈川) 根本 (埼玉) 川嶋
(中央) 山口・是枝・林

(1) 当面の開催までのテンポ

※3月

16日(水) 現地・中央打ち合わせ

24日(木) 関東甲ブロック会議・現地実行委員会開催予定確認

※4月

企画確定

参加規模の検討 確認

学校参加費の検討 確認

◆会場、機材関係で千葉県社保協、中央社保協で現地打ち合わせを予定する
(4月下旬~5月上旬) ※会場下見→4/22(金) 午前(是枝・日暮・藤田)

※5月

連休明けにチラシ作成

参加申込方法の検討(グループフォーム、エクセル)、確定、

チラシデータ配信、印刷

◆現地・千葉での必要数を検討してもらい+αで、印刷数を決める

◆基本はデータ配信

配布・配信の日程について

・参議院選挙日程も念頭に検討

・各集会、行動等でのチラシ配布

団体要請行動

中央団体 選挙後、8月の総会案内とともに計画

千葉県内各団体要請

8月3日 全国総会で再アピール

(2) スケジュール・企画案

1日目/9月17日(土)

12時30分

受付開始

13時

開会

司会()

中央社保学校長 挨拶 ()

現地実行委員長 挨拶 (鈴木徳男)

—スケジュール説明・事務連絡—

13時15分

~14時15分 (60分) 講演: ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして (案)

~経済の潮流と国民の暮らし~

講師: 宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授) 一別添一

14時15分

~14時45分 (30分)

質疑応答/休憩

- 14時45分(90分) 特別報告: コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾
 ～医療・介護・公衆衛生現場からの告発～
 (30分×3人)
- 報告 ①医療→(千葉民医連:医師/宮原重佳氏)
 ②介護→(埼玉医労連:ハラスメントアンケート結果とコロナ感染
 拡大下の現場の実態)
 ③公衆衛生・保健所の実態→(東京自治労連に相談)
- ※報告内容について報告者と事前打ち合わせを行う
- 16時15分 意見交流
- 16時30分 事務連絡・終了

2日目/9月18日(日)

- 9時30分 受付開始
 10時 司会() —スケジュール説明・事務連絡他—

社会保障運動 入門講座 講師案→井口克郎神戸大学准教授依頼中 (中央社保協)

◆テーマ

※ 社会保障はだれもが人間らしく生きるための共同の営みであり、憲法が保障する権利です。ところがいま、「自助・互助・共助」が強調され、制度改悪が続いています。戦後の日本の社会保障「改革」の経緯にふれつつ、「憲法をいかす運動とは？」あらためて学び、考えます。若い世代もベテランも共に・・・

11時30分 ～質疑応答～

12時 ～昼休み休憩～

◆DVD上映 千葉からの発信「安房文化遺産フォーラムの取組み」

※憲法9条と25条は一体です。平和憲法を守り、活かす運動の推進に、「千葉からの発信～安房文化遺産フォーラムの取組み」を紹介します。

DVD(15～20分程度)にまとめ、昼休みに繰り返し放映できるように依頼中。

12時45分 シンポジウム「現場、地域の声・運動を 現場、地域から届けよう」(仮)
 「届けよう 現場・地域の声、広げよう 運動を」ではどうでしょう？

◆テーマ

※子ども、若者、女性、高齢者など、あらゆる世代の貧困、自治体の現場の実態と問題点、矛盾を明らかにし、住民のいのち・健康・暮らし・福祉まもる自治体本来のあるべき姿を考えます。

さらに、「全世代型社会保障政策」「財政危機論」などの社会保障解体と憲法改悪の動きに対抗する、真に平和と人権を守り、活かす「市民と野党の共闘」、地域からの運動を交流します。

国と自治体に対し、いのちと暮らしを守る政策への転換を求めるこれからの社保協運動の前進、地域社保協づくりを展望して、地域での実践の中から憲法9条・13条・25条等、人権としての社会保障に基づく私たちのめざす新しい時代の社会保障制度を考え、交流するシンポジウムを目指します。

コーディネーター ※長友薫輝三重短期大学教授に依頼中。(中央社保協)

パネリスト ・地域医療守って! 東松戸病院の廃止を撤回させる住民のとりくみ
—市立病院の充実を願う市民ネット:別添資料— (松戸社保協)

・65歳の壁～障害者を年齢で差別するな (天海訴訟を支援する会)

・税金は安心できる暮らしのために使ってほしい

聞いてよ 私の願い 思いを —別添資料—

—太田和美市長との懇談→別添資料— (柏社保協)

・地域の相談活動から

※東葛(松戸・柏・流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷の6市)派遣村の取組み
(ちば派遣村 in 東葛実行委員会)

※パネラーの発言時間は? (30分×4人) でしょうか?

※参加者からの質問・発言については、会場からの発言とチャットで受けて、コーディネーターにパネリストへの発言も求めながら進めてもらう

※参議院選挙後に、コーディネーターとパネリストの打ち合わせ予定する
(7月中旬)

15時15分 まとめ 行動提起(中央社保協)
感想文記入
事務連絡

15時30分 閉会

(3) 参加費について

※第48回社保学校参加費

1日 1000円 ※2日で2000円

300円(資料代 送料込み)

700円(社保誌テキスト代 送料込み)

入金方法 中央社保協事務局へ集中

振込手数料 参加者負担

※第49回社保学校参加費(案)

参加費 1日参加500円

資料代 500円(送料込み)

◆1日参加/1000円(資料代込み)

2日参加/1500円(資料代込み)

※資料の印刷、データ配信等の実務的な打ち合わせ(発送手続き、配信先の集約等)を事務局で検討する。

千葉県社保協・現地事務局とも相談する

経費の検討も必要か。

◆参加費入金方法 中央社保協事務局へ集中
振込手数料 参加者負担

④

※2022. 5. 12 現在

第49回中央社会保障学校 From 千葉

- 日時 2022年9月17日(土)～18日(日)
- メイン会場/千葉市文化センター セミナー室
—webで全国に発信— (定員140人の1/2=70人)

●スケジュール・企画案

1日目/9月17日(土)

- 12時30分 受付開始
13時 開会 司会()
中央社保学校長 挨拶 ()
現地実行委員長 挨拶 (鈴木徳男)
—スケジュール説明・事務連絡—
- 13時15分
～14時15分 (60分) 講演: ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして (案)
～経済の潮流と国民の暮らし～
講師: 宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授)
- 14時15分
～14時45分 (30分) —質疑応答・休憩—
- 14時45分 (90分) 特別報告: コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾
～医療・介護・公衆衛生現場からの告発～
(30分×3人)
報告 ①医療→(千葉民医連:医師/宮原重佳氏)
②介護→(埼玉医労連:ハラスメントアンケート結果とコロナ感染
拡大下の現場の実態)要請中
③公衆衛生・保健所の実態→(東京自治労連に要請する)
- 16時15分 意見交流
16時30分 事務連絡・終了

2日目/9月18日(日)

- 9時30分 受付開始
10時 司会() —スケジュール説明・事務連絡他—
- 社会保障運動 入門講座 講師→井口克郎神戸大学准教授

◆テーマ

※ 社会保障はだれもが人間らしく生きるための共同の営みであり、憲法が保障する権利です。ところがいま、「自助・互助・共助」が強調され、制度改悪が続いています。戦後の日本の社会保障「改革」の経緯にふれつつ、「憲法をいかす運動とは？」あらためて学び、考えます。若い世代もベテランも共に・・・

11時30分 ～質疑応答～

12時 ～昼休み休憩～

◆DVD上映 千葉からの発信「安房文化遺産フォーラムの取組み」

※憲法9条と25条は一体です。平和憲法を守り、活かす運動の推進に、「千葉からの発信～安房文化遺産フォーラムの取組み」を紹介します。

DVD(15～20分程度)にまとめ、昼休みに繰り返し放映できるように依頼中。

12時45分 シンポジウム 一届けよう 現場・地域の声、広げよう 運動を一(仮)

◆テーマ

※子ども、若者、女性、高齢者など、あらゆる世代の貧困、自治体の現場の実態と問題点、矛盾を明らかにし、住民のいのち・健康・くらし・福祉まもる自治体本来のあるべき姿を考えます。

さらに、「全世代型社会保障政策」「財政危機論」などの社会保障解体と憲法改悪の動きに対抗する、真に平和と人権を守り、活かす「市民と野党の共闘」、地域からの運動を交流します。

国と自治体に対し、いのちとくらしを守る政策への転換を求めるこれからの社保協運動の前進、地域社保協づくりを展望して、地域での実践の中から憲法9条・13条・25条等、人権としての社会保障に基づく私たちのめざす新しい時代の社会保障制度を考え、交流するシンポジウムを目指します。

コーディネイター ※長友薫輝佛教大学准教授

パネリスト ・地域医療守って! 東松戸病院の廃止を撤回させる住民のとりくみ
—市立病院の充実を願う市民ネット:別添資料— (松戸社保協)

・65歳の壁～障害者を年齢で差別するな (天海訴訟を支援する会)

・税金は安心できるくらしのために使ってほしい
聞いてよ 私の願い・思いを —太田和美市長との懇談— (柏社保協)

・地域の相談活動から
※東葛(松戸・柏・流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷の6市)派遣村の取組み
(ちば派遣村 in 東葛実行委員会)

※パネラーの発言時間は? (30分×4人)

※参加者からの質問・発言については、会場からの発言とチャットで受けて、
コーディネイターにパネリストへの発言も求めながら進めてもらう。

※7月中旬コーディネイターとパネリストの打ち合わせ予定する

15時15分 まとめ 行動提起(中央社保協)
感想文記入
事務連絡

15時30分 閉会

⑤

第49回中央社保学校開催要綱(概要)

2022年7月27日

中央社保協

第49回中央社保協現地実行委員会

1. 中央社保学校開催目的

- ① 社会保障運動の歴史とたたかいについて学ぶ。
- ② 現在の社会保障をめぐる情勢の最新の状況とたたかい方について学ぶ。
- ③ 情勢を学びつつ、社会保障入門講座を設置し、新入職員・同組合員の学習と活動家の実践・経験を深める場とする。
- ④ 開催地県の運動実践に学ぶ
- ⑤ 社会保障運動にかかわる人の交流と学びの場とする。

2. 第49回中央社保学校開催にあたって

コロナ禍で日本の社会保障とともに政治や社会の脆弱性が明確になりました。安倍・菅政治直結の岸田内閣の下で、「新しい資本主義」なるまやかしのスローガンの下、自助を基本とする政治、社会保障政策を引き続き加速させる政治が強く打ち出されています。

コロナ禍において、「自助」「自衛」が国民に求められ、政府の対策は、医療機関や介護施設、そして営業を守るための施策も不十分な中、国民の命と暮らしを守る政治とはなっていません。

中央社保学校の開催は、現在の日本の政治や社会の現状を広く深く分析し今後のあり方を考え、そのもとで社会保障の現状と改革の方向性を探っていくために、重要な意義があるものです。

また、地域社保協づくりを推進し、今後の社会保障運動を担う人たちの養成を行っていくための社会保障入門テキストが発行、活用されるのを受けて、学習運動を各地で推進させていくための決起の場としても位置付けられます。

3. 第49回中央社保学校開催概要

- 日時：2022年9月17日(土)13時開会～18日(日) 16時閉会
- 会場：【全国】完全オンライン、【千葉県内】千葉市内会場+オンライン併用

※千葉県内各地に集団視聴会場を設けます。

<千葉市内>

- ▲千葉市文化センターセミナー室 (定員70名) ※事前申し込み
- ▲自治体職員福祉センター 第1.2会議室 (定員40名) ※事前申し込み

※上記の他 各加盟団体・地域社保協にて集団視聴を予定。
千葉土建本部・支部では7カ所集団視聴会場を準備中—

1日目/9月17日(土)

12時30分 受付開始 (受付手順について要確認)

- 13時 開会 司会：千葉県社保協→福井貴志(千葉土建千葉支部書記長)
阿部礼子(千葉県民医連事務局次長)
- 中央社保学校長 挨拶 (安達克郎・中央社保協代表委員)
現地実行委員長 挨拶 (鈴木徳男・千葉県社保協会会長) ←ビデオ
- スケジュール説明・事務連絡—
- 13時15分 第1講座
講演：安全保障と国民生活～「脱新自由主義」めざして (60分)
講師：宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授)
- 14時15分 質疑応答／休憩
方法：チャット並びに発言・・・会場参加者用に発言用紙を配付
- 14時45分 特別報告： コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾 (90分)
～医療・介護・公衆衛生現場からの告発～
報告者
① 医療の現場から→宮原重佳さん(千葉民医連:医師)
② 介護の現場から→栗原知亜紀さん
(医療生協さいたま県北地域統括マネージャー・看護師・ケアマネージャー)
③ 公衆衛生・保健所の現場から【web】
→・井上 淳美さん(西京区役所障害保健福祉課 保健師)
・永戸 有子さん(京都市職労執行委員長)
※報告内容について報告者と個別にメールなどで事前打ち合わせを行う
- 16時15分 意見交流
交流方法：チャット並びに発言・・・会場参加者用に発言用紙を配付
- 16時30分 事務連絡・終了

2日目／9月18日(日)

- 9時30分 受付開始
10時 司会：千葉県社保協→福井貴志(千葉土建千葉支部書記長)
阿部礼子(千葉県民医連事務局次長)
—スケジュール説明・事務連絡他—

- 第2講座
講演 社会保障運動 入門講座 (90分)
講師 井口克郎神戸大学准教授

◆ねらい

社会保障はだれもが人間らしく生きるための共同の営みであり、憲法が保障する権利です。ところがいま、「自助・互助・共助」が強調され、制度改悪が続いています。戦後の日本の社会保障「改革」の経緯にふれつつ、「憲法をいかす運動とは？」あらためて学び、考えます。若い世代もベテランも共に・・・

11時30分 ～質疑応答～
方法：チャット並びに発言・・・会場参加者用に発言用紙を配付

12時 ～昼休み休憩～

- ◆DVD上映～千葉からの発信「安房文化遺産フォーラムの取組み」
※憲法9条と25条は一体です。平和憲法を守り、活かす運動の推進に、「千葉からの発信～安房文化遺産フォーラムの取組み」を紹介。

12時45分 第3講座

シンポジウム「届けよう 現場・地域の声、広げよう 運動を」

◆テーマ、ねらい

- ・ 子ども、若者、女性、高齢者など、あらゆる世代の貧困、自治体の現場の態と問題点、矛盾を明らかにし、住民のいのち・健康・暮らし・福祉まもる自治体本来のあるべき姿を考えます。
- ・ さらに、「全世代型社会保障政策」「財政危機論」などの社会保障解体と憲法改悪の動きに対抗する、真に平和と人権を守り、活かす「市民と野党の共闘」、地域からの運動を交流します。
- ・ 国と自治体に対し、いのちと暮らし守る政策への転換を求めるこれからの社保協運動の前進、地域社保協づくりを展望して、地域での実践の中から憲法9条・13条・25条等、人権としての社会保障に基づく私たちのめざす新しい時代の社会保障制度を考え、交流するシンポジウムを目指します。

コーディネーター 長友薫輝佛教大学准教授

パネリスト

- ・ 関 智子さん (社会保障推進松戸市協議会 事務局次長)
- ・ 新山晴美さん (社会保障推進柏市協議会 会長)
- ・ 嶋村新一さん (ちば派遣村 in 東葛実行委員会・松戸労連前議長)
- ・ 額建史さん (天海訴訟支援する会)

運営について

- ・ 参加者からの質問・発言については、会場からの発言とチャットで受けて、コーディネーターにパネリストへの発言も求めながら進める
- ・ パネリストの発言時間(予定 30分×4人)
- ・ コーディネーターとパネリストの打ち合わせを、発言時間等の配分等シンポジウムの進行も含めて行う。
→8月12日(金) 18時より zoomにて

15時15分 ～休憩～

15時30分 まとめ 行動提起(中央社保協)
感想文記入
事務連絡

16時00分 閉会

4. 参加費について

第48回社保学校参加費

- ・ 1日 500円 ※2日で1000円
- ・ 資料代500円(印刷資料代 送料込み) ※データのダウンロードは無料
- ・ 入金方法 中央社保協事務局へ集中
- ・ 振込手数料 参加者負担

5. 開催へ向けてのスケジュール 別添へ

- 8月4日(木) 17時半より→千葉県社保協幹事会にて打ち合わせを行う。
- 8月12日(金) 18時より シンポジスト打ち合わせ zoomにて
- 8月26日(金) 参加登録締め切り日
- 9月1日(木) 参加費など入金締め切り日
- 9月8日(木) 参加キャンセル受付締め切り日
- 9月9日(金) 社保学校・視聴(参加)のための Zoom 情報送付
- 9月12日(月) 講義資料(印刷冊子)希望者への送付予定日(到着までお待ち下さい)
- 9月17日(土) 第49回中央社保学校開催(～18日)



第49回中央社保学校現地実行委員会報告 〜別添〜

1. 前日までの準備

- 8月4日(木) 千葉県社保協第3回幹事会～Web含む打ち合わせ
- 8月12日(金) シンポジスト打ち合わせ (Web)
- 8月26日(金) 参加登録締め切り日
- 8月31日(水) 講師、シンポジスト資料受付終了 ⇒ 遅延者の催促(9/1～)
- 9月1日(木) 参加費など入金締め切り日
- 9月7日(水) 中央社保協運営委員会
- 9月8日(木) 千葉県社保協第4回幹事会～Web含む打ち合わせ
参加キャンセル受付締め切り日
講義資料データ作成(ドキュワークス⇒PDF作成)
- 9月9日(金) 視聴(参加)のためのZoom情報・講義資料データの送付(接続テスト案内付き)
講義資料(印刷冊子)の印刷【全日本民医連にて】 作成部数(部)
- 9月12日(月) 講義資料(印刷冊子)希望者への送付予定日(到着までお待ち下さい)
- 9月14日(水) Zoom接続テスト① ●●時～●●時 ※巣鴨宣伝日
- 9月15日(木) Zoom接続テスト① ●●時～●●時
- 9月17日(土) 第49回中央社保学校開催(～18日)

2. 集合時間

- ① 9月17日 10時集合⇒意思統一⇒開催準備
※夜間も借りているため翌日の準備・打ち合わせを終了後に行う
- ② 9月18日 9時集合⇒意思統一

3. 実施要綱の具体化事項

① 全体運営

- ・ 総責任者 林 信悟 (補・山口一秀)
- ・ 事務局長 大嶋祐介 (補・是枝一成)
- ・ 現地事務長 藤田まつ子
- ・ 事務局 (ブロック)→窪田・根本・川嶋 (現地)→【矢澤】【馬上】【石塚】【神田】【自治労連】

② 司会者【福井貴志／千葉土建千葉支部書記長】【阿部礼子／千葉県民医連事務局次長】

③ Zoom設定関連

- ・ ウェビナー機能を使う

④ 受付手順【 】【 】 要検討!

- ・ 現地にて()台のパソコン 要員 名

・Web参加者の受付

- ・共同ホスト メイン→ 自治体福祉センター 特別会議室 【矢澤】【 】
- 仮設電話(2回線)→ 043-215-8202

- ・共同ホスト→メイン会場 千葉市文化センター セミナー室 【日暮】【大嶋】【 】

個人参加
各県会場

●千葉県内

→メイン会場、各団体・地域でのサブ会場設置で集団視聴含め、事前申し込みで集約する。

※別添

- ・ 現地会場でのリアル受付・当日申込者、千葉各会場リアル受付・当日申込者

⑤ 講師・シンポジストの案内・対応

- ・ 控室はどうするか 後方にあるが・・・
- ・ 担当者1名
- ・ 講師、パネリストの動向
開会あいさつ 安達先生(Web)、鈴木会長(録画)
第1講座 宮崎先生(リアル)
特別報告 宮原さん(リアル)、さいたま(Web)、自治労連・京都(Web)
第2講座 井口先生(Web)
第3講座 長友先生(リアル)
関さん(リアル)、新山さん(リアル)、嶋村さん(リアル)、瀬瀬さん(リアル)

- ・昼休みに放映するDVD→安房文化遺産フォーラムのDVDから日暮氏が作成中。
20分×2回上映予定。千葉県社保協がフォーラムに謝礼を支払う。

⑥ Web関係担当

- ・ メイン会場(千葉市文化センター セミナー室)定員70名
担当 (中央)〇五十嵐【 】 8/4までに要員メンバー確定しておく
(現地)◎日暮 +4人位
- ・ サブ会場への配置 (自治体福祉センター 第1,2会議室)定員40名
※別途意思統一・・・日暮・是枝・大嶋打ち合わせ 8月4日

⑦ 会場設営・マイク係

- ・ 会場配置図
- ・ 看板はなし⇒タイトルバック(パワポ)で映写
- ・ 現地会場出入口での案内掲示必要か

- ・ 講師、パネリストの紹介名札→千葉県社保協担当
- ・ マイク係(1名)

⑧ 感染予防対策

手指消毒 マイク消毒、机消毒

体温計はどうするか どこから調達するか、レンタルか卓上パネル

⑨ 昼食について

・メイン会場→実行委員分は主催者にて準備。(文化センター指定の取引業者)

他の参加者については外からの弁当持ち込みができないため弁当付きで参加費を徴収。

・サブ会場への対応→

⑩ 書籍販売はしない 手数料発生のため

⑪ 緊急連絡先

4. 資料集(概要)

- ① スケジュール
 - ② 参加の手引き(参加注意事項)
 - ③ 宮崎先生資料
 - ④ 特別報告資料
 - ⑤ 入門講座資料
 - ⑥ シンポジスト、コーディネーター資料
 - ⑦ 安房文化遺産フォーラムの取組み関連資料
 - ⑧ 行動提起
 - ⑨ 秋の行動・集会案内チラシ、社会保障誌申込用紙など
- ※別紙・・・感想文用紙/グーグルホームからも可にする
- ※会場用資料 メイン会場用 サブ会場用

5. メイン会場配置図

第49回中央社保学校動態表

時間	プログラム	登壇者	設定
			設置・Web環境 Zoomホストについて→共同ホスト ※メインPCは前日に設置しておく→ ①自治体福祉センター3階 特別会議室…(豊枝) (矢澤) (片山) メイン 電話/043-215-8202 (2回線) ○メインPC/千葉社保協所有・サブPC/千葉労運所有 ※藤田/9時文化センター事務局へ→ ②文化センター (共同ホスト) …日暮・大嶋 ○当日前に司会の福井・阿部との打ち合わせをwebで行いたい→
10:00	事務局集合	▼文化センター会場 ※要員含め50人とする。 ○中央：山口・林、※豊枝・大嶋→前泊、五十嵐 宮崎園：建田・根本・川嶋 ○司会：福井貴志・阿部礼子 ○千葉：藤田・石塚・日暮・矢澤・渡辺・永島・麻生・松田・生駒 ※豊枝・矢澤は打ち合わせ後自治体福祉センターに移動～ ○非接触体温計7台(民医運) 消毒液(県社保協)	○ 千葉PC 計5台・発信器2台・カメラ2台・映像切り替え器1台・ケーブル 詳細は別添の通り→担当：日暮・渡辺 (9時撤入) →カメラ操作：五十嵐・渡辺 1台は固定。 会場参加者受付及び資料配布準備。 ○記録用写真撮影 (永島)
	昼食(中央社保協負担、準備：藤田) ※お茶は別途購入		(注1)※スクリーン1→パワーポイントで作成(中央社保協)※1800×1800(正方形で作成) ※スクリーン2→パワーポイントで作成プログラム(日暮作成めぐり風)
	弁当→ほそや ☎2556-1771 ¥850		(注2)・自治体福祉センター4階会議室 (自治労連+希望者) 他千葉土庫7会場にて県田増設
	注文→計21個		※自治体福祉センター→特別会議室へ直行→片山()10時半
	※自治体福祉センターの要員分は履き次第届ける。(生駒)※自転車千葉労運所有借用		Web受付対応：自治体福祉センター メインホスト 学校運営対応：文化センター共同ホスト
12:00	司会打合せ		※資料は各机に配付 会場 ※弁当用意
12:00	Web受付開始		※開仕切り版の用意…千葉労連 司会用机2(前後の席で交代で) マスク着用
12:30	会場受付開始	宮崎礼二氏 (麻生)(松田) ※参加費等未納者への対応含む	質問用紙は会場視聴のところにのみへ送る。
12:40	安達先生・入室予定	安達代表委員	※開仕切り版の用意…千葉労連 司会用机2(前後の席で交代で) マスク着用
13:00	全体司会あいさつ	福井・阿部 Webでの「質疑はチャット」会場は「質問用紙に記入」を伝える	質問用紙は会場視聴のところにのみへ送る。
13:02	中央・開会あいさつ	中央社保協・安達克郎代表委員	Web
13:07	現地・開会あいさつ	千葉県社保協・鈴木徳男会長	録画したものを流す(作成/千葉土建 栗原)
13:11	スケジュール・説明・事務連絡	福井・阿部	司会者+(林)(山口) 4人で確認 演台用 開仕切り1
13:15	講演	宮崎礼二先生(明海大学経済学部准教授)	司会者+(林)(山口) 4人で確認しつづ 会場～質問用紙 司会用机 マスク着用 演台用 開仕切り1
14:15	質疑応答	講演中「チャット」「質問用紙」を確認 福井・阿部 宮崎先生	司会者+(林)(山口) 4人で確認しつづ 会場～質問用紙 司会用机 マスク着用 演台用 開仕切り1
14:30	休憩・Web接続確認	報告者のWeb接続確認	演台用 開仕切り1
14:45	司会	福井・阿部	演台用 開仕切り1
	特別報告①	宮原重生さん	演台用 開仕切り1
	特別報告②	栗原知重記さん	演台用 開仕切り1 連絡先

第49回中央社保学校動態表

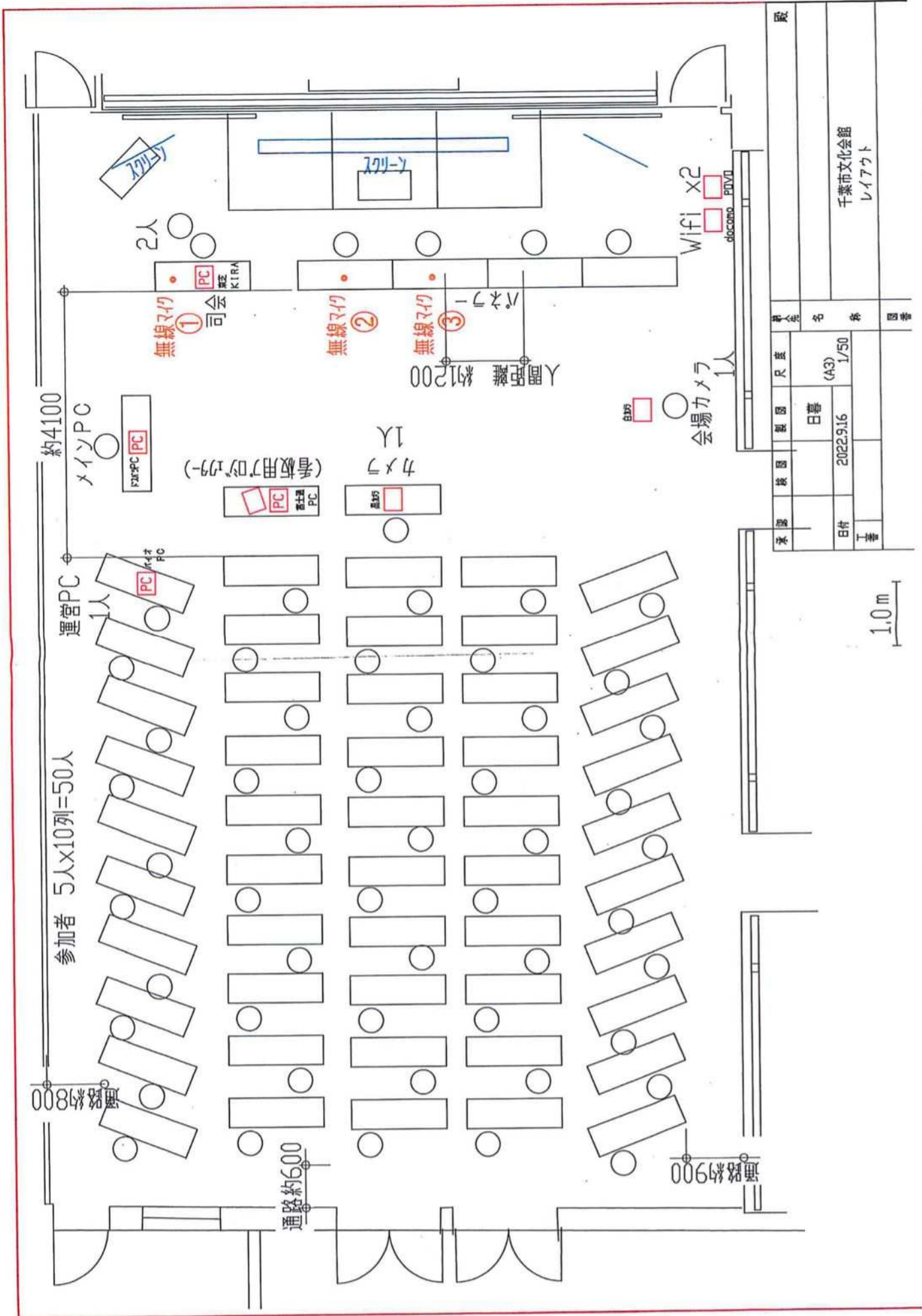
時間	プログラム	登壇者	設定	設置・Web環境
	特別報告③-1	井上 淳美さん	Web	連絡先
	③-2	永戸 有子さん	Web	連絡先
		報告中「チャット」「質問用紙」を確認	福井・阿部	司会者 + (林) (山口) 4人で確認
16:15	全体司会・意見交流	福井・阿部	会場	司会用机 マスク着用
16:30	事務連絡・ 1日目終了	福井・阿部 2日目の準備・打ち合わせ		司会者 + (林) (山口) 4人で確認 林・大嶋・山口・尾枝・五十嵐・窪田・根本・川嶋・藤田・日暮・矢澤・石塚・永島・麻生・松田・生駒・渡辺・福井・阿部

第49回中央社保学校校動態表

時間	プログラム	登壇者	設定	運営・Web環境
2日目・9月18日(日)				
9:00	開場 現地事務局集合			Web受付対応：自治体福祉センター 特別会議室 ホスト(梶枝) 矢澤(午前/黒濱)(午後/永島)※午後は2人でよいか？
				画面共有、進行などの確認
				共同ホストパソコン操作(日暮) (大嶋)
				カメラ操作：五十嵐・渡辺
				○記録用写真撮影(午前/永島)(午後/麻生)
9:30	会場及びWeb受付開始 講師 Web接続	(麻生) 松田 (神田)※参加費未納者への対応含む 井口克郎氏	Web	受付用机 マスク着用 連絡先 090-7083-3096
10:00	全体司会、2日目開始あいさつ スケジュール・説明・事務連絡	福井・阿部 Webでの「質疑はチャット」会場は「質問用紙に記入」を伝える		司会用机 マスク着用 司会者+ (林) (山口) 4人で確認
11:30	質疑応答	井口克郎氏 講演中「チャット」「質問用紙」を確認 福井・阿部 井口克郎氏	福井・阿部	司会者+ (林) (山口) 4人で確認しつつ 11:00→非当到着 司会用机 マスク着用
12:00	昼休み～昼休みの案内	福井・阿部 安房文化遺産フォーラムの取組み紹介～20分×2回上映	Web	非当配付→受付にて ※講師・シンポジスト・要員のお茶の用意(藤田) 日暮
12:45	司会 シンポジスト登壇	福井・阿部 長友薫輝先生 関 智子さん 新山晴美さん 嶋村新一さん 藤澤建史さん	会場 会場 会場 会場 会場	演台用 簡仕切り1 ※簡仕切り版の用意…千葉労連 ～シンポジストは簡仕切りなしでひとり1机とする～ ※座席最前列との距離をとる マイク 5本 机5脚・椅子5脚 名札(藤田作成)
12:55	シンポジウム趣旨、進行の説明 パネリストの発言	長友薫輝先生 関 智子さん 東松戸病院の看護を求めとりにくみ 新山晴美さん 税金は安心できるのくらしのために～個人課税行動	会場 会場	
15:30	司会 まとめ	福井・阿部 行動提起～中央社保協	会場	中央社保協(林)

第49回中央社保学校動態表

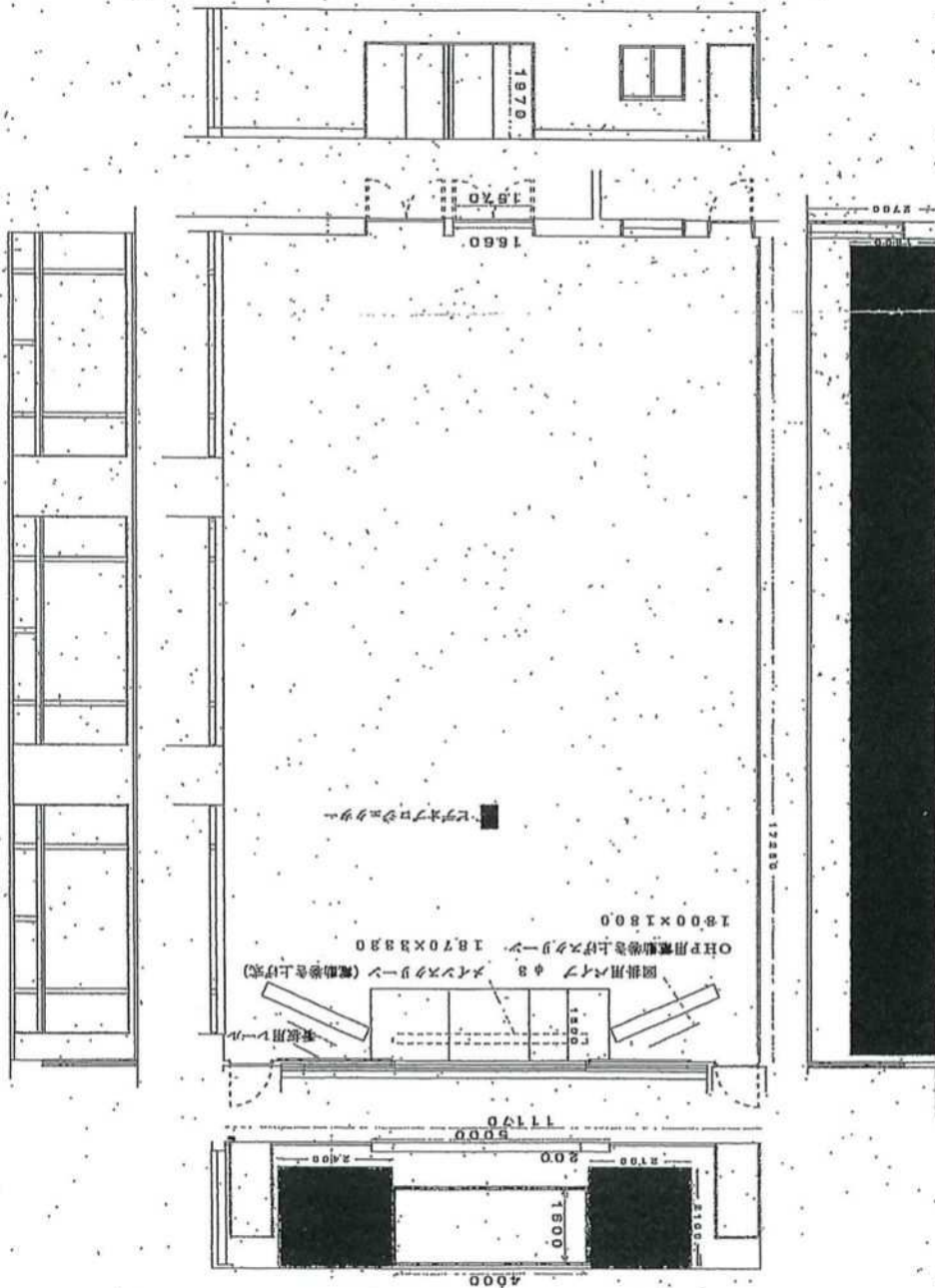
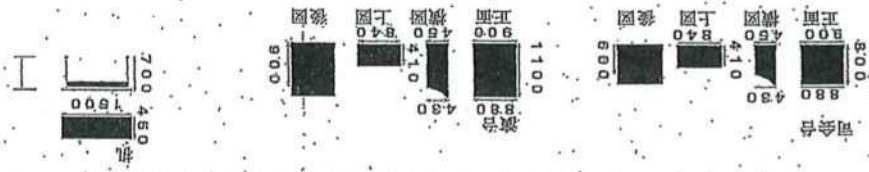
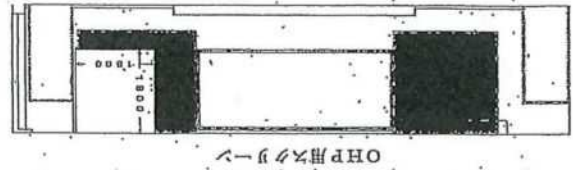
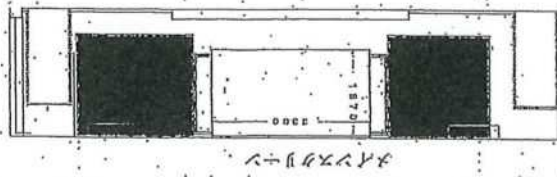
時間	プログラム	登壇者	設定	設営・Web環境
	閉会あいさつ	現地実行委員会	会場	首都圏社保益()
	司会者あいさつ	福井・阿部/感想文記入～事務連絡		
16:00	終了			
	後片付け			

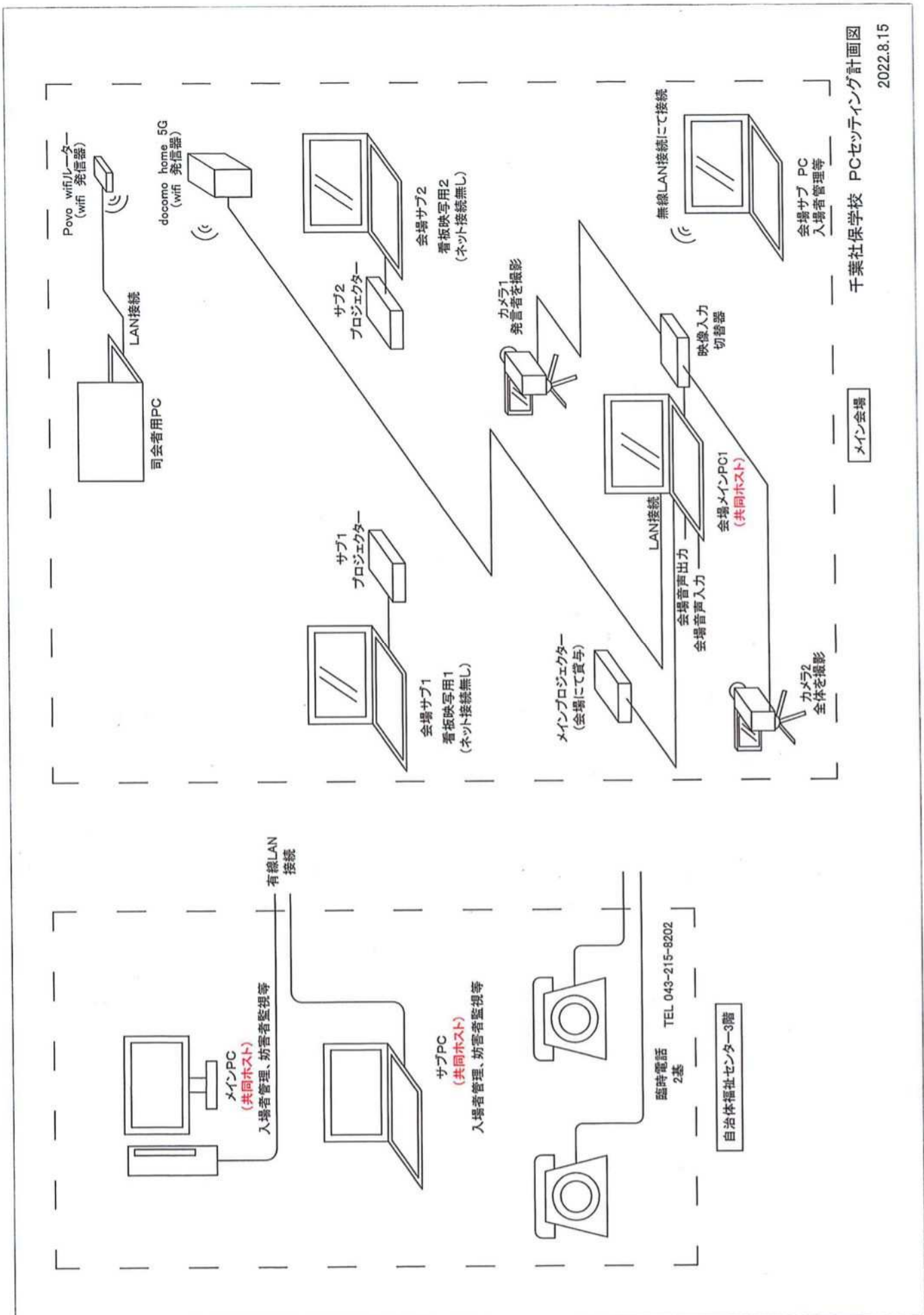


承取	校名	製図	尺底	名	図書
日付	2022.9.16	日暮	(A3)	1/50	
工事					
千葉市文化会館 レイアウト					

1.0m

Wifi
Zoom





千葉社保学校 PCセッティング計画図
2022.8.15

第49回中央社保学校に係る収支明細表

作成 千葉県社保協

▲立替金	① 96,580 文化センター会場費	千葉市文化センター	67,000
	② 10,560 文化センター下見・打ち合わせ	自治体福祉センター4階	16,000
	③ 5,040 文化センター下見・音響設備使用料	自治体福祉センター3階	3,500
	④ 10,380 17日 音響設備使用料 (文化センター)	個人視聴	44,000
	⑤ 10,380 18日 音響設備使用料 (文化センター)		130,500 →9/1現在送金済
	⑥ 24,700 17日/要員用弁当・お茶付き(26ヶ)		
	⑦ 28,500 18日/要員用弁当・お茶付き(30ヶ)	千葉土建集団視聴	91,000 →9/1現在送金済
	⑧ 6,600 花東代		
	⑨ 6,469 駐車場代・インターネット関係費用		
	⑩ 25,500 自治体福祉センター3階特別会議室利用料		
	▲ 224,709		

※送金	文化センター	65,500
※最終参加申し込み	自治体福祉センター	14,000
	福祉センター特別会議室	3,500
	個人視聴	51,000
	県社保協扱い分合計	134,000
	土建集団視聴	96,000
	▼未納分	3,500
	未納分→	5,000 9/5送金済

請求金額 →▲ - ▼ 221,209

※18日分弁当代支払い内訳
(文化センターへ支払い)

18日/要員用弁当・お茶付き(30ヶ)	28500 (中央社保協負担)	要員+講師+シンポジスト
18日/参加者用25食 (お茶なし)	21250 (個人・加盟団体負担)	
	49750	

千葉県社保協通信

2022年度 No.3 2022年 8月 29日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター3F

TEL: 043-225-6790 FAX: 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

第49回中央社会保障学校 From千葉

若者も ベテランも 共に学び考えよう！
広げよう！！ 憲法をいかに運動を

最終メ切迫る！

県内参加目標 / 300人

8/27現在 県内申し込み → 281人

1日目の講演は「安全保障と国民生活～脱新自由主義めざして」～講師/宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授・千葉県学習協会会長)です。つづいて、特別報告～コロナ下で浮き彫りになった矛盾。医療・介護・公衆衛生の現場からの告発です。

2日目午前は、井口克郎神戸大准教授の「社会保障入門講座」。午後のシンポジウム「届けよう 現場・地域の声、広げよう 運動を」では、住民のいのち・健康・くらし・福祉まもる自治体本来のあるべき姿を考え、社会保障解体と憲法改悪の動きに対抗する地域での実践の中から、人権としての社会保障に基づく私

たちのめざす社会保障制度を考え、交流します。

コーディネーターは長友薫輝佛教大学准教授。パネリストは、▼関 智子氏(松戸社保協)/住み続けられる街づくりのために～市立東松戸病院・梨香苑存続を ▼新山晴美氏(柏社保協)/税金は安心できるくらしのために使ってほしい～個人請願行動 ▼嶋村新一氏(ちば派遣村 in 東葛実行委員会)/地域の共同で続けてきた「なんでも相談会」▼瀬藤建史氏(天海訴訟支援する会)/障害者を65才で差別するな～天海訴訟の取り組みです。

8.27 コロナ災害を乗り越えるくらしと命を守る 何でも電話相談 千葉労連会場

全国 25 都道府県 35 会場
で取り組まれ(10時～22時)、
千葉労連会場(12時～18時・
2回線)には、収束の見通せない
コロナ禍の下での不安と困窮を
訴える声とともに 10 件の
相談が寄せられました。



相談員の戸村稔さんは 3 件の相談に対応。茨城 M市の 60 代男性は「一昨年 4 月コロナ感染で夫婦とも職を失い、一時は失業給付があったが、現在は無収入。車も手放し退職金を使い果たし、生きるすべがない。市役所に何度も相談したが話も聞いてもらえない」と。千葉市内の 70 代女性は「健康に不安を感じるが一人暮らしで相談できる友人がいない」と。国の支援策と行政の対応の改善を求めるとともに、地域で住民のつながりを強めてゆくことの大切さがあらためて浮き彫りになりました。

自治体福祉センター(4F会議室)の集団視聴会場には、まだ空席があります。ぜひお申し込み下さい。

●県社保協・消費税廃止県連絡会・憲法共同センター● コロナ拡大・物価高騰 無策な政権に怒り心頭

8月23日(火)昼の千葉駅そごう側通路での定例宣伝。75歳以上の医療費2倍化はまだまだ知らない人が多い。「エーッ」と驚いて署名をする人がほとんど。「俺たちの知らないところで悪いことがドンドン決まっちゃうなあ」と嘆く高齢男性も署名。「戦争は絶対だめ。自民党と統一教会の関係が次々出てきて気持ち悪い」と「改憲 NO」署名する人やコロナや物価高騰に無策の岸田政権への怒り、苛立ちから足をとめる人がいつもより多く感じました。

労連・土建・自治労連・新婦人・私教連・保険医協会・共産党・県社保協の8団体16人参加。「改憲 NO」「消費税減税」「75歳以上窓口2割化中止」の署名16筆が寄せられました。



ご案内

10.29いのち・くらしを守る学習交流のつどい (仮称) web併用

時/10月29日(土) 午後1時～午後4時 メイン会場/千葉県自治体福祉センター (千葉市中央区長洲1-10-8)

●基調講演● 寺尾正之氏 (日本医療総合研究所) ～全世代型社会保障改革と医療・介護のゆくえ～
— 地域・団体より特別報告～運動交流 —

— 共催: 社会保障推進千葉県協議会・地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会 —

千葉県社保協通信

2022年度 No.4 2022年 9月 24日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

第49回中央社会保障学校 From 千葉

活かせ!! 憲法9条・25条
軍拡ストップ 社会保障の充実めざし
学習を力に 地域からの運動を広げよう

17・18日の2日間、第49回中央社保学校が千葉市内会場と全国をオンラインで結び開催され、のべ852人(県内310人)が参加しました。

中央社保協安達克郎代表委員は、軍拡に突き進む岸田政権を批判。憲法改悪を許さず9条・25条一体でたたかおうとよびかけ、鈴木徳男現地実行委員長のあいさつ(録画)で開校しました。



宮崎礼二明海大学准教授が「安全保障と国民生活」をテーマに講演。軍備拡大を批判。軍事最優先は国民の命・安全・財産を犠牲にするものと指摘。改憲か護憲か、軍備増強の新自由主義国家か社会保障費増の福祉国家かの選択が迫られていると強調しました。

特別報告「コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾」では、宮原重佳氏(医師・千葉民医連会長)、栗原知亜紀氏(埼玉/看護師・ケアマネジャー)、永戸有子氏・井上淳美氏(京都市職労)



18日午後のシンポジウム開始前。スクリーンでは屋休み企画「安房文化遺産フォーラムの取り組み」放映中。

の各氏が医療、介護、公衆衛生の現場からの告発。いま必要なのは国民の安全・安心のため保健所や医療機関・介護施設の体制を強めることであり、行政の責任放棄ではないとあらためて訴えました。

2日目の井口克郎神戸大学准教授の「社会保障入門講座」。人権としての社会保障運動の前進のためには資本主義の理解が不可欠と指摘。憲法25条2項にふれ、未だかつてない運動の重要性を強調しました。

シンポジウム「届けよう現場・地域の声、広げよう運動を」では、長友薫輝佛教大学准教授がコーディネイターを務め、東松戸病院・梨香苑存続運動、柏市での「個人請願」運動、東葛地域での「労働・生活・健康なんでも相談会」の取り組み、「天海訴訟を支援する会」の活動を交流しました。

林信悟中央社保協事務局長が①75歳以上医療費負担2割化中止②介護保険制度大改悪阻止③学習を力に地域社保協づくりを提起。司会は福井貴志さん(土建千葉支部)と阿部礼子さん(県民医連)が務めました。来年は岡山で開催です。※裏面に感想文を掲載

75歳以上窓口負担 "2倍化やめて" あびこ社保協

「年金が減らされ続ける中で、10月から医療費窓口負担2倍にするなんて!」とんでもない政治に怒りはつのるばかり。あびこ社保協役員会は、宣伝活動をよびかけ、10日16時から我孫子駅前にて12人で50人程にチラシを配布。署名22筆。21日の国会行動に届けました。



●県社保協・消費税廃止県連絡会・憲法共同センター

20日・昼・千葉駅東口~**憲法違反の国葬反対!!**

時折雨と風が吹きつける中でのスタンディング。立ち止まって「(国会も開かず)勝手に決めるなんておかしい」と「反対」にシール投票する人やネット署名のQRコードをスマホで撮る若い男性も。11団体32人が参加。署名は38筆。



～県内参加者の感想文からの抜粋～

○ 講演「安全保障と国民生活」

・防衛費問題を歴史的、系統的に安全保障と国民生活の課題から学ぶことができ、とても有意義なものでした。ウクライナ戦争を待っていたかのように防衛費を増やし、原発を再稼働さらに新設を推し進めようとする政治に憤りを覚えます。今、世界がコロナパンデミックに襲われ、また温暖化という気候危機に直面し人類が存続できるかというなかで、軍拡をすすめるなんてありえない。

・宮崎先生のお話はいつも明快(明海)で、なぜ今、社会保障費を増やすことが社会として必要なのか納得がいきました。戦争中毒の国にしてはなりません。

○ 特別報告「コロナ禍で浮き彫りになった矛盾」

・待機期間が10日間から7日間になったが、コロナの特性がかわったからではなく、8日目から10日目も他人にうつす可能性が残っている。病院では自発的に8日目～10日目は「発熱外来へ」という対応している実態の報告があった。それらを含めて国民へ説明すべきだが、現場の判断に委ねられており、きめ細やかな施策をすべきだ。

・私自身今年7月まで医療機関で働いていたので、自分の問題として聞かせていただきました。感染対策を十分とっているにも関わらず、職員の感染によるクラスターの発生等、身に沁みるお話でした。保健所の問題報告では、大阪でも保健所は24か所あったものが1か所に、24区は保健センターにされたことにより、このコロナ禍により大変な状況を作り出したことを元市長、元府知事も認めざるを得ない状況になっています。今も日夜奮闘されている医療職員、介護職、保健所の職員様に感謝です。

○ 「社会保障運動入門講座」

・「社会保障は公助ではない」は目からウロコがおちました。支配者の恩恵を受けているのではない。憲法上規定された国の「保障」する義務を負うということ。

・資本主義社会の矛盾、憲法にある社会保障、国際条約に照らし国際社会から批判をあびている等、あまり知らなかったことが聞けてよかったです。生活保護基準「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する保護費を削減は許されない問題である。大企業、富裕層への課税をちょっと引き上げるだけで解消できる、なぜ日本でこのような状況が作られるのか理解できない。社会保障運動の正念場という言葉が胸に響きました。

・憲法25条2項は“後退禁止”これを運動に使いましょう。“知っている”と思っていた範囲でしたが、切り口の新たな視点に気づかせていただき感謝。

○ シンポジウム「届けよう 現場・地域の声 広げよう運動を」

・公立病院の廃止、病床削減が全国各地で計画されている。コロナ禍にあって地域の医療機関が医療崩壊、職員の疲弊が広がるなか、公立病院の充実・発展が求められているなかで、なぜこのような事態がすすめられるのか？大阪市市民病院が2重行政の象徴として廃止、民間の病院誘致に失敗、結局、市と府の統合施設として病院の開設が計画されているような状況がある。65歳問題は、私自身職中はかなり頭を痛めた問題でした。いずれにしても、障害者施策、介護保険のどちらも充実させていかなければならないと思います。

・地元4者の話は、それぞれに良かったです。課題を自分ごととして引き寄せられる内容でした。

・各地での活動を知ることが出来ました。様々な立場の方が社会保障という観点から繋がることはとてもスゴイと感じました。

○ 全体を通じて その他

・国の政策、政治動向、社会保障の動向等、日々しっかり学ばないといけない。社会保障運動、地域での運動の大切さを感じました。微力ながら自分自身、社会保障運動をすすめていきたいと思いました。

・館山のNPO安房フォーラムのことを入れて下さり感謝です。地域の紹介にぴったりだったと思います。

・年金問題は社保協運動の柱の1つであると自覚しました。1日目に参加できず、残念でした。

第49回中央社保学校実施要綱(第1次案)

2022年2月2日

中央社保協運営委員会
現地実行委員会、同・事務局

■中央社保学校開催目的

- ①社会保障運動の歴史とたたかいについて学ぶ。
- ②現在の社会保障をめぐる情勢の最新の状況とたたかい方について学ぶ。
- ③情勢を学びつつ、社会保障入門講座を設置し、新入職員・同組合員の学習と活動家の実践・経験を深める場とする。
- ④開催地県の運動実践に学ぶ
- ⑤社会保障運動にかかわる人の交流と学びの場とする。

■第49回中央社保学校開催にあたって

コロナ禍で日本の社会保障とともに政治や社会の脆弱性が明確になりました。安倍・菅政治直結の岸田内閣の下で、「新しい資本主義」なるまやかしのスローガンの下、自助を基本とする政治、社会保障政策を引き続き加速させる政治が強く打ち出されています。コロナ禍において、「自助」「自衛」が国民に求められ、政府の対策は、医療機関や介護施設、そして営業を守るための施策も不十分な中、国民の命と暮らしを守る政治とはなっていません。中央社保学校の開催は、現在の日本の政治や社会の現状を広く深く分析し今後のあり方を考え、そのもとで社会保障の現状と改革の方向性を探っていくために、重要な意義があるものです。また、地域社保協づくりを推進し、今後の社会保障運動を担う人たちの養成を行っていくための社会保障入門テキストが発行、活用されるのを受けて、学習運動を各地で推進させていくための決起の場としても位置付けられます。

■第49回中央社保学校実施要綱(第1次案)

- 日時：2022年9月17日(土)13時～16時30分　18日(日)10時～15時30分
- 会場：千葉市内会場+オンライン併用
　　<メイン会場> 千葉市文化センター セミナー室 (JR千葉駅東口より徒歩5分)
　　※全国からの参加はオンラインを原則とする
- 主催：中央社保協、第49回中央社保学校実行委員会
　　実行委員会：中央社保協、千葉県社保協、東京社保協、神奈川県社保協、埼玉県社保協
　　同・事務局：千葉県社保協、中央社保協
　　第49回中央社保学校長は、中央社保協代表委員より選任
- 参加申し込み方法や参加費など詳細は今後検討。

【概要スケジュール(第1次案)】

1日目／9月17日(土)

13時00分　中央社保学校長、現地実行委員長　開会挨拶

13時15分 講演:
ポストコロナ社会「脱新自由主義」めざして～経済の潮流と国民の暮らし～(仮)
講師: 宮崎礼二氏(明海大学経済学部准教授)
質疑応答

—休憩—

15時30分 コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾 ～医療・介護現場からの告発～
16時30分 ～事務連絡・終了～

2日目／9月18日(日)

10時00分 社会保障運動 入門講座 講師: 調整中
～社会保障はだれもが人間らしく生きるための共同の営みであり、憲法が保障する権利です。ところがいま、「自助・互助・共助」が強調され、制度改悪が続いています。戦後の日本の社会保障「改革」の経緯にふれつつ、「憲法をいかす運動とは？」あらためて学び、考えます。若い世代もベテランも共に・・・
～質疑応答～

12時00分 ～昼休み休憩～
※憲法9条と25条は一体です。千葉からの発信～安房文化遺産フォーラムの取組みを紹介。
DVD(20分程度)にまとめ昼休みに2回放映できるよう調整中。
—千葉県社保協が安房文化遺産フォーラムに依頼—

12時45分 シンポジウム～
～子ども、若者、女性、高齢者・・・あらゆる世代の貧困、自治体の現場の実態と問題点、矛盾を明らかにし、国と自治体へいのちと暮らしを守る政策への転換を求めるこれからの社保協運動、地域社保協づくりを展望して～
コーディネーター 調整中
パネラー 調整中
・公衆衛生・保健所
・国保や生活保護行政の改善
・65歳の壁～障害者を年齢で差別するな
・地域での相談活動～食糧支援・無料塾等の取組みから
・自治体要請キャラバンや地域社保協の取組みから
参加者からの質問と発言～
※途中で休憩時間とる

15時15分 まとめ ～感想文記入・事務連絡～
閉会あいさつ等

15時30分 閉会

以上